

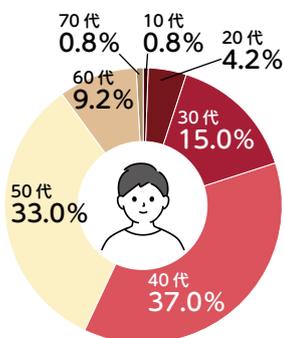
# 鹿行地区5市を巡る「日本一フラット100キロコース」 第7回茨城100kウルトラマラソン in 鹿行

3月9日(日)、鹿行5市を巡る「第7回茨城100kウルトラマラソン in 鹿行」が開催されました。この大会は、北浦湖畔が織りなす水辺ならではの美しい景観を選手に楽しんでいただくとともに、鹿行地域の魅力を広くPRし、地域の活性化を図ることを目的としています。当日は547人が参加し、ゲストランナーとしてウルトラランナーみゃこさん、オスペンギンの山中崇敬さん、TKDプロジェクトのよしきさんをお招きしました。

## 参加者データ

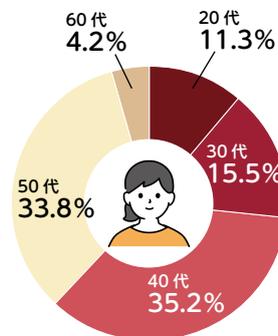
### 【男性の部】

参加者 476人  
完走者 354人  
完走率 74.4%  
最年少 18歳  
最年長 75歳



### 【女性の部】

参加者 71人  
完走者 54人  
完走率 76.1%  
最年少 23歳  
最年長 67歳



## 参加者居住地別割合 (都道府県ごと)



その他：北海道、岩手、秋田、宮城、山形、福島、栃木、群馬、新潟、石川、山梨、静岡、長野、愛知、岐阜、滋賀、大阪、京都、兵庫、島根、香川、福岡



## Champions !

### 男性の部

- 👑 1位 児玉 雄介 さん 6:55:57
- 🥈 2位 鴨志田 遼太郎 さん 7:02:15
- 🥉 3位 飯田 知也 さん 7:42:51

1位 児玉さんのコメント  
「前は2位だったので、今回は優勝することができて、とてもうれしいです。」



## Congratulations !

### 女性の部

- 👑 1位 森 あゆみ さん 9:06:16
- 🥈 2位 塩田 麻美 さん 9:11:27
- 🥉 3位 小久保 早紀 さん 9:12:06

1位 森さんのコメント  
「サブ10 (10時間以内でゴール) できた！という、うれしい気持ちでいっぱいです。」



▲結果はこちらから

## 夢を持つことの素晴らしさを伝えたい JFAこころのプロジェクト「夢の教室」

2月4日（火）、麻生小学校の5年生を対象に夢の教室が開催されました。今回は、自転車競技元日本代表の中村妃智さんが夢先生として登壇し、これまでの経験から「夢を持つことの素晴らしさや、夢に向かって努力することの大切さ」を伝えました。児童たちは中村さんの話に驚き、笑いながら熱心に耳を傾けていました。授業の最後には、将来の夢を記入する「夢シート」を作成し、自分の夢を発表しました。今後、この夢シートに夢先生が返事とサインを記入し、児童一人一人のもとへ届けられます。



▲（写真中央）自転車競技元日本代表の中村妃智さん



## 水 郷地域の美術振興 第17回水郷美術展覧会

2月5日（水）から2月9日（日）までの5日間、行方市麻生公民館の体育室で第17回水郷美術展覧会が開催されました。水郷美術展覧会は、水郷美術家協会を中心に、行方市・潮来市の美術振興の向上を目的に絵画・書道・写真・陶芸の4部門の作品を展示しています。本年度は、118作品（絵画27点・書道36点・写真30点・陶芸25点）が出品され、期間中は多くの方々に鑑賞していただきました。来年度は潮来市で開催予定ですので、皆様のご出品、ご来場をお待ちしています。

## 手 話の技術や福祉関連の知識を習得 令和6年度鹿行手話奉仕員養成講座

2月8日（土）、麻生公民館で鹿行手話奉仕員養成講座（基礎コース）の閉講式が行われました。鹿行手話奉仕員養成講座は、聴覚障がいのある方のコミュニケーションの一つとして重要な手話の技術および福祉関連の知識を習得し、奉仕活動を行える手話奉仕員（＝ボランティア）を養成することを目的としています。養成講座は、1年目は入門コース、2年目は基礎コースをそれぞれ35回ずつ2年間学習し、8人が2年目基礎コースまで修了されました。修了された方々の手話奉仕員としての活躍を期待しています。



▲（写真）格闘家の小比類巻貴之さん

## 子どもたちの表彰と記念講演を実施 行方市青少年表彰式

2月16日（日）、文化会館で行方市青少年表彰式が開催されました。本年度は、教育委員会主催の輝く未来展、読書感想文コンクールと、青少年育成行方市民会議主催の青少年健全育成大会の3つの表彰式を行方市青少年表彰式として開催しました。それぞれの受賞者が一堂に会し、小学生から高校生までの136人が受賞しました。記念講演では、格闘家の小比類巻貴之さんによる講演が行われ、「夢を叶える心の作り方」という題で、子どもから大人まで、心の強さや努力の大切さを学ぶことができた非常に有意義な機会となりました。

## 交通安全啓発用のぼり旗寄贈 松崎建設株式会社

2月25日（火）、潮来市の松崎建設株式会社から、交通安全啓発用のぼり旗100枚と、ポール100本が寄贈されたことを受け、麻生庁舎で寄贈式が行われました。同社からは、地域貢献の一環として、昨年度にも本市へ交通安全啓発用のぼり旗を寄贈していただいています。いただいたのぼり旗は、今後、市内各所への設置や、市交通安全協会・市母の会による各種団体の啓発活動の中で使用し、交通安全意識のさらなる向上に役立てさせていただきます。



▲（写真中央右）松崎建設株式会社関野雅美常務取締役



▲（写真右から）麻生中学校金田正浩校長、眞田怜先生、関川翔さん、田中湊さん、宮内慧先生

## 全国大会出場を報告 麻生中学校男子ハンドボール部

3月7日（金）、麻生中学校男子ハンドボール部が第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会へ出場することを受け、市長を表敬訪問しました。麻生中学校男子ハンドボール部は、1月の県大会で優勝し、3月25日（火）からの5日間、富山県で行われる全国大会への出場を決めました。チーム代表として訪問した関川さんと田中さんは「全国大会優勝を目標に掲げ、一勝一勝確実に勝ち取っていききたい」と意気込みを語りました。

## 地域医療の現状や動向等の課題を認識 行方地域における医療講演会

3月8日（土）、麻生公民館で行方地域における医療講演会が開催されました。本講演会は、行政や医療関係者の講話を通じて、地域医療の現状や動向等の課題を認識することで、行方地域のあるべき医療の実現に向けて協働していくことが目的です。近年、高齢化社会の進展や医療従事者不足等により、地域医療の維持・確保が大きな問題となっています。そのような課題を解決するためには、住民と行政との相互理解・協働や医療関係者との連携が不可欠となることから、今後も引き続き、市として機運の醸成を図っていきます。



### 不法投棄はしない・させない・許さない！

近年、一部モラルのない人により路上や山林などへの不法投棄が繰り返され、後を絶たないのが現状です。



不法投棄とは？

ルールを無視して、ごみ（一般廃棄物・産業廃棄物）を山林、原野、道路沿いや河川沿いなどに捨てるまたは埋める行為をいいます。この行為は、景観を損なうだけでなく、ごみの種類によっては地域の土壌や水質に重大な影響を与えることも考えられます。

発見した場合は、環境課へお電話を！ ☎ 0291-35-2111

### 罰則

不法投棄は、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金に処せられ、またはこれが併科されます。

## 新 入生に交通安全帽子を寄贈 JA なめがたしおさい

3月11日(火)、JA なめがたしおさい(安藤昌義代表理事組合長)から、市内小学校新入学児童へ「交通安全帽子」と、地域農業の特色などが学べる「JA オリジナル食育連絡帳」が寄贈されました。この事業は、JA なめがたしおさいが、地域貢献の一環として、昭和52年から継続して実施しているものです。昨年度から男女統一デザインに変更され、軽量化・通気性の向上のために新素材が採用されました。児童の登下校の安全のため、活用させていただきます。



▲(写真右) JA なめがたしおさい金田富夫代表理事専務



▲(写真右から) 有限会社埴農機具店埴社長、玉造小学校田辺光博校長

## 私 募債を活用し学校備品を寄贈 有限会社埴農機具店・株式会社常陽銀行

3月12日(水)、寄贈サービス付私募債「未来の夢応援債」を活用して、玉造小学校に一輪車とワイヤレスマイクが寄贈されました。この取り組みは、株式会社常陽銀行が私募債発行企業から受け取る手数料の一部を、地域の学校や地方公共団体に寄付するものです。埴社長の「子どもは地域の夢であり財産である」との思いから、今回の寄贈が実現しました。児童のために有効に活用させていただきます。

### 行方市中学生海外派遣研修事業の参加者募集

未来を担う行方市の中学生を海外に派遣し、郷土および国際社会に対する理解を進めることを目的とし、中学生海外派遣研修事業を実施します。

- ▼ 期 間 8月20日(水)～28日(木) 9日間
- ▼ 研修場所 オーストラリア(ビクトリア州メルボルン)
- ▼ 募集人数 15人
- ▼ 参加者負担金 15万円
- ▼ 募集期間 4月7日(月)～18日(金)



▲詳細はこちらから

※研修および募集の詳細については、QRコードから市公式ホームページをご確認ください。



**予約不要**

### 事前説明会を開催します

参加を考えている人、参加しようか悩んでいる人なども皆さんの疑問を解決します。保護者の方と一緒にご参加ください。

- ▼ 日時 4月5日(土) 18:00から
- ▼ 場所 麻生公民館大ホール

【問い合わせ】学校教育課 ☎ 0291-35-2111



◀市報行方令和6年10月号で過去参加者の追跡インタビューを掲載しています。